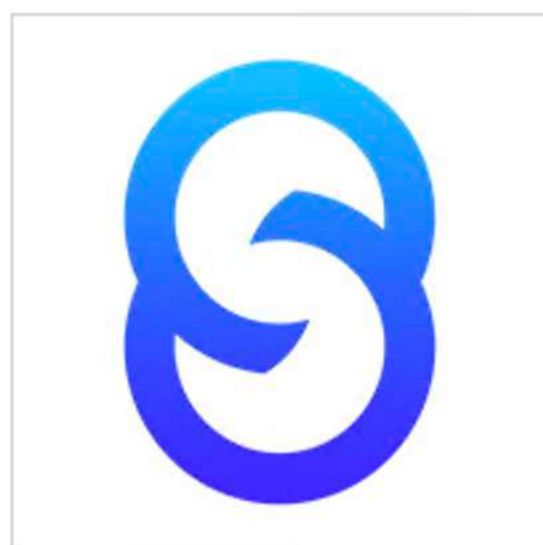




SynQ Remote

バージョン 2.3.0.0

Windows用のSynQ Remoteアプリケーション

アプリを取得する >

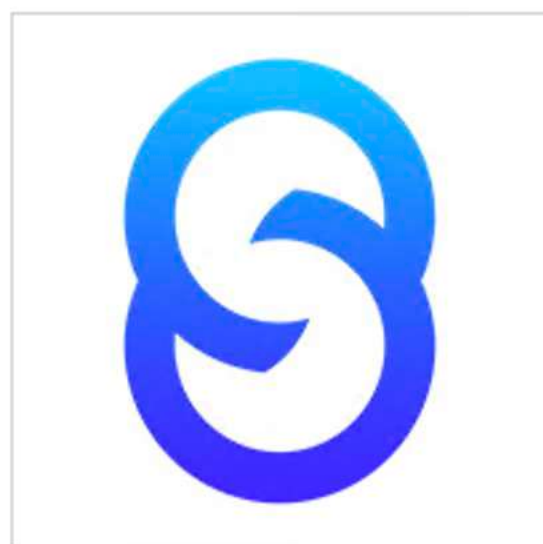
インストールをトラブルシューティングします

追加のリンク

アプリケーション情報

バージョン	2.3.0.0
必要なオペレーティング システム	10.0.19041.0
アーキテクチャ	x86 x64 ARM64
公開者	QUANDO, Inc.

『追加のリンク』をクリックすると
メニューが開きます



SynQ Remote

バージョン 2.3.0.0

Windows用のSynQ Remoteアプリケーション

アプリを取得する >

インストールをトラブルシューティングします

追加のリンク

公開者証明書

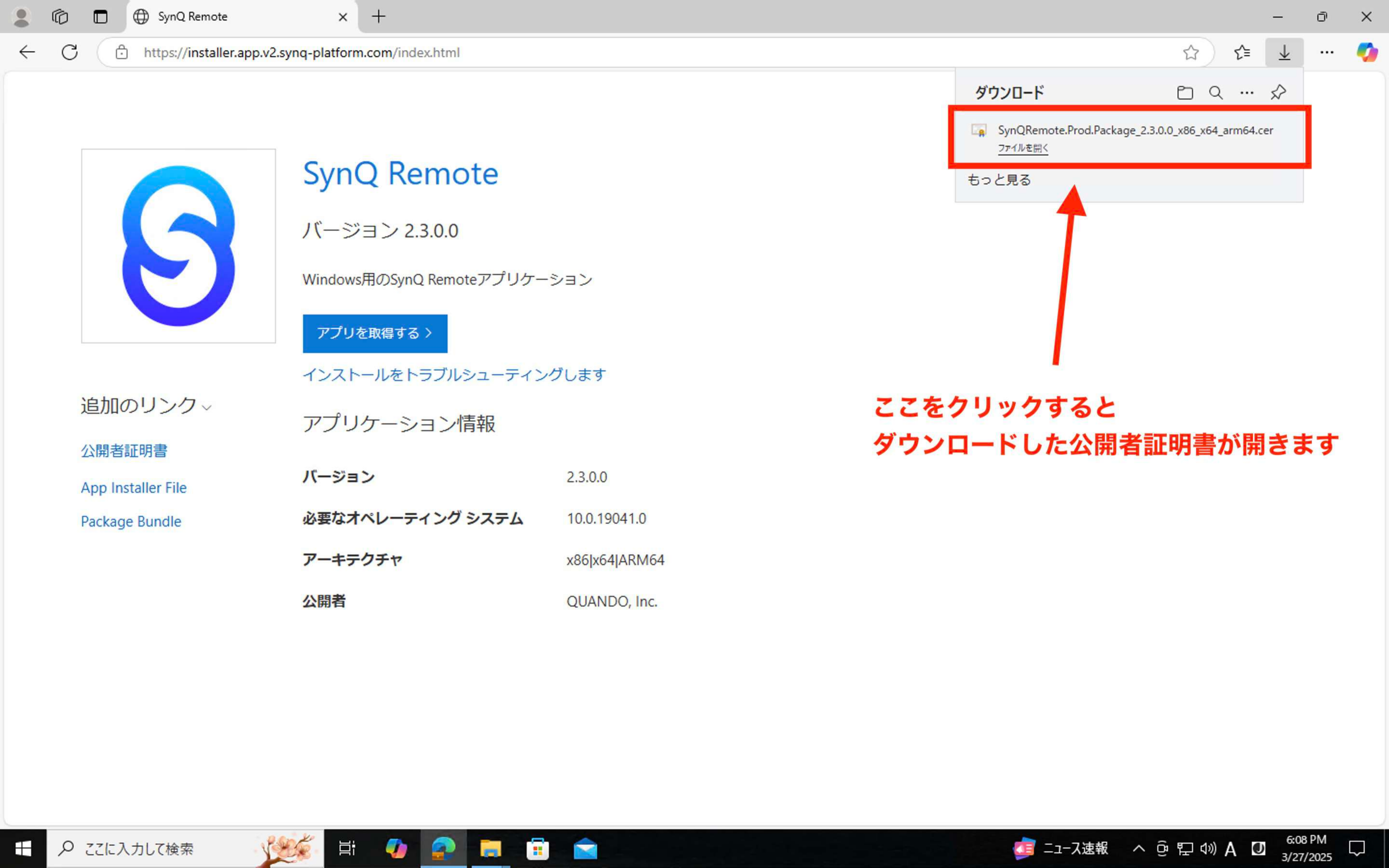
App Installer File

Package Bundle

アプリケーション情報

バージョン	2.3.0.0
必要なオペレーティング システム	10.0.19041.0
アーキテクチャ	x86 x64 ARM64
公開者	QUANDO, Inc.

『公開者証明書』をクリックすると
公開者証明書がダウンロードされます



SynQ Remote

バージョン 2.3.0.0

Windows用のSynQ Remoteアプリケーション

アプリを取得する >

インストールをトラブルシューティングします

アプリケーション情報

バージョン	2.3.0.0
必要なオペレーティング システム	10.0.19041.0
アーキテクチャ	x86 x64 ARM64
公開者	QUANDO, Inc.

追加のリンク

公開者証明書

App Installer File

Package Bundle

ダウンロード

SynQRemote.Prod.Package_2.3.0.0_x86_x64_arm64.cer
ファイルを開く

もっと見る

ここをクリックすると
ダウンロードした公開者証明書が開きます



この写真について
詳しい情報...



ごみ箱



Microsoft
Edge



Google
Chrome



SynQRemot...
(1)



OBS Studio



『開く』をクリックすると
証明書の画面が開きます



ここに入力して検索



ニュース速報



6:08 PM
3/27/2025



証明書

全般 詳細 証明のパス

証明書の情報

この証明書の目的:

- ソフトウェアがソフトウェア発行者の送信であるか確認する
- 公開後のソフトウェアの変更を禁止する
- 1.3.6.1.4.1.4146.1.2
- 2.23.140.1.3

*詳細は、証明機関のステートメントを参照してください。

発行先: QUANDO, Inc.

発行者: GlobalSign GCC R45 EV CodeSignin

有効期間 3/17/2025 から 3/18/2026

証明書のインストール(I)... 発行者のステートメント(S)

OK

『証明書のインストール』をクリックすると
証明書のインストール画面に移動します



この写真について
詳しい情報...



ここに入力して検索



ニュース速報



6:09 PM
3/27/2025



この写真について
詳しい情...



← 証明書のインポート ウィザード

証明書のインポート ウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

デフォルトの保存場所は『現在のユーザー』になっているので『ローカルコンピュータ』をクリックしてください

保存場所

☒ 現在のユーザー(C)

☐ ローカル コンピューター(L)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

次へ(N)

キャンセル



ここに入力して検索



ニュース速報



6:09 PM
3/27/2025



この写真について
詳しい情...



← 証明書のインポート ウィザード

証明書のインポート ウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

『ローカルコンピュータ』にチェックが入ったことを確認して
『次へ』をクリックして次の手順に進みます

保存場所

- ☐ 現在のユーザー(C)
- ☒ ローカル コンピューター(L)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

次へ(N)

キャンセル



この写真について
詳しい情...



← 証明書のインポート ウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

- ☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)
- ☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

参照(R)...

次へ(N)

キャンセル

デフォルトでは証明書の配置先が
『証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する』
になっているので、
『証明書を全て次のストアに配置する』
をクリックして切り替えてください





この写真について
詳しい情...



← 証明書のインポート ウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☐ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

☒ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

参照(R)...

次へ(N)

キャンセル

『証明書を全て次のストアに配置する』を選択すると
『参照』がクリックできるようになります。

『参照』をクリックして、証明書の配置先の選択に進みます。





この写真について
詳しい情報...

証明書ストアの選択

使用する証明書ストアを選択してください(C)

個人

信頼されたルート証明機関

エンタープライズの信頼

中間証明機関

信頼された発行元

信頼されていない証明書

☐ 物理ストアを表示する(S)

OK

キャンセル

デフォルトで『個人』が選択された状態になっているので。
『信頼されたルート証明機関』を選択します。

です

明書の場所を指定することができます。

アを選択する(U)

参照(R)...

次へ(N)

キャンセル



この写真について
詳しい情...

×

証明書ストアの選択

使用する証明書ストアを選択してください(C)

個人

信頼されたルート証明機関

エンタープライズの信頼

中間証明機関

信頼された発行元

信頼されていない証明書

☐ 物理ストアを表示する(S)

OK

キャンセル

参照(R)...

次へ(N)

キャンセル

『信頼されたルート証明機関』が選択されていることを確認し、
『OK』をクリックして、証明書の配置先を確定します。



この写真について
詳しい情...



← 証明書のインポート ウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☐ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

☒ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

信頼されたルート証明機関

参照(R)...

次へ(N)

キャンセル

証明書ストアが『信頼されたルート証明機関』
になっていることを確認し
『次へ』を押して、確認画面に進みます



ここに入力して検索



ニュース速報

6:09 PM
3/27/2025



この写真について
詳しい情報...



← 証明書のインポート ウィザード

証明書のインポート ウィザードの完了

[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

次の設定が指定されました:

ユーザーが選択した証明書ストア	信頼されたルート証明機関
内容	証明書

内容を確認し問題がなければ
『完了』をクリックして、
証明書のインストールを実行します

完了(F)

キャンセル



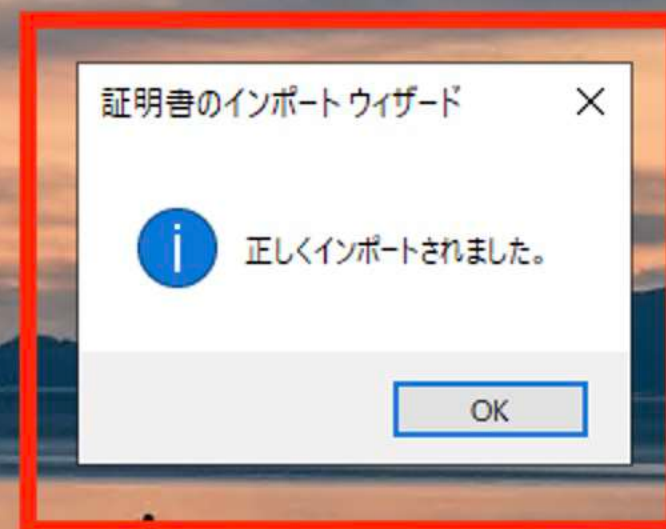
ここに入力して検索



ニュース速報



6:09 PM
3/27/2025



インストールが完了すると
『正しくインポートされました。』と表示されます。
『OK』をクリックして証明書のインストール作業は完了です。



この写真につい
ての詳しい情...



ここに入力して検索



ニュース速報



6:09 PM
3/27/2025